



Loom

AGENTIC WORKSPACE

BUILT BY  NeuradeX

人間のように、 記憶し、推論するエージェント。

Remembers — and reasons — like a human.

Claude Code や Codex を丸ごと包み、
人間のような記憶を与える、
完全ローカルのデスクトップ製品。

どれだけ賢いモデルも、セッションごとに記憶を失います。
有限のコンテキストに何が入るかが、出力の品質を決めます。
ボトルネックは「推論」から「文脈」へ。

01



自分で育つ記憶

会話するだけで、知識グラフが更新

02



上書きされない真実

矛盾を解き、時系列で追跡可能

03



モデル独立な基盤

どのモデルでも、記憶はそのまま使えます。

モデルが賢くなるほど、争点は「その周りの文脈」へ移ります。**Loom は、その層です。**

訊く前に、思い浮かぶ。

Loom は人間の認知から徹底的に学びました。会話するだけで、知識が自律的に構造化されます。検索でも recall でもありません。必要な瞬間に、自然と浮かびます。それは、まさに私たちがやっていることです。

× 従来 「AIメモリ」は呼び出して検索する道具です。叩かなければ動きません。

● **Loom** 訊く前に浮かび、使われた分だけ残り、矛盾を解いて更新する、生きたグラフです。

● 訊く前に浮かぶ

明示的な呼び出しは要りません。
「あの MCP を使って」というプロンプトも不要です。

● 使われた記憶だけが残る

むやみにコンテキストウィンドウを汚しません。
要点だけが育ち、使われた記憶に重みがかかります。

● 背後で自動整理

明示的な要求は不要です。
人間と同じく、話したことや起きたことを整理して覚えます。

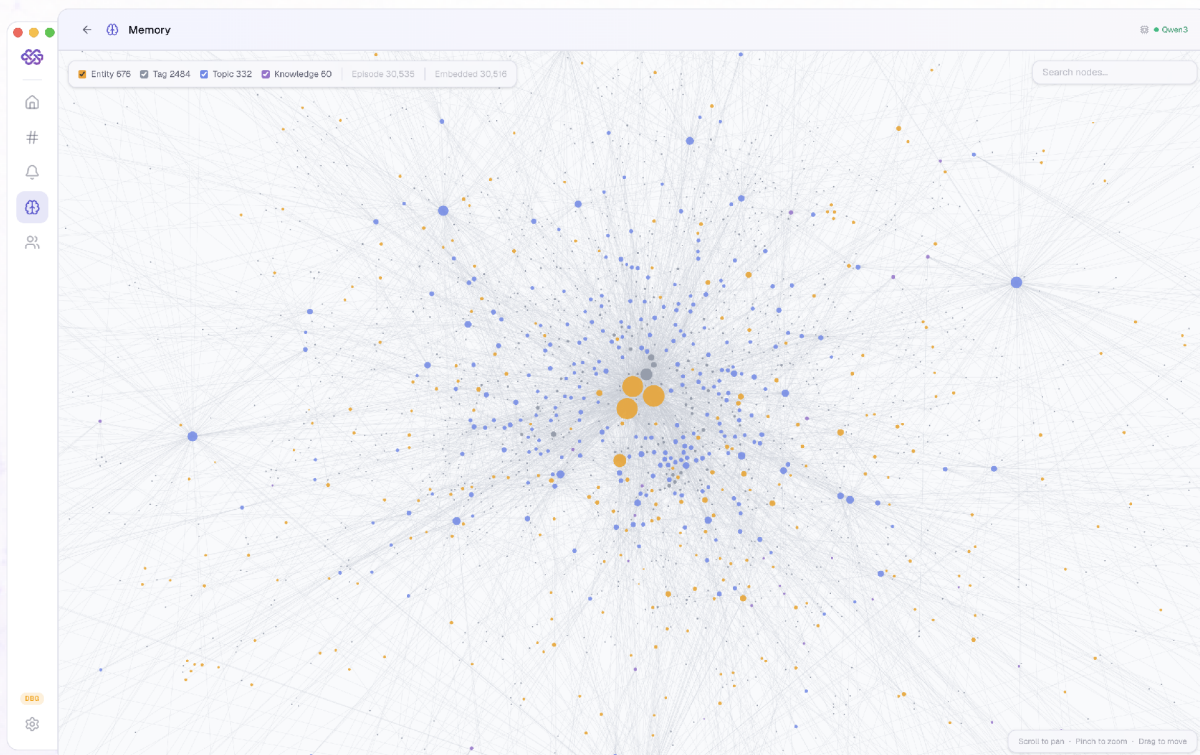
● 矛盾を解いて更新

矛盾する情報や古くなった情報を見分けられます。
「これはまだ正しい？」に、時間軸で答えます。

これを可能にする、**Loom の記憶グラフ**。

エピソード ▶ トピック ▶ 知識 ▶ タグ ▶ エンティティ ▶ 関係グラフ(オントロジー)

あなたが話すだけで、9 つの LLM パイプラインが背後でこのグラフを構築します。



▶ モデルが変わっても、積み上げた記憶は残ります。

記憶は、6つの層でできています。

Loom は、人がものを覚える仕組みをまねて設計しました。会話するだけで、下から順に情報が積み上がり、意味のつながりを持った「**生きた地図**」になっていきます。一枚のメモの寄せ集めではありません。

01

エピソード EPISODE | すべての記憶の出発点

会話や出来事を、「保存して」と頼まなくても、そのまま出来事の断片として自動で残します。覚えるために書き出す手間も、指示を守らせる必要ありません。人が意識せず体験を覚えていくのと同じ発想です。

例 「田中さんが単価の話を切り出した」——この一言も、そのまま一つのエピソードとして残ります。

02

トピック TOPIC | 出来事のまとまり

関連するエピソードが集まると、意味のある「話題」として束ねられます。断片ひとつでは何も分からなくても、前後の出来事とまとまって初めて文脈が見えてきます。ラベル(タグ)も、この段階から付き始めます。

例 「見積もりが届いた」「社内で費用を検討した」——これらが束ねられて“ベンダー切り替えの検討”という一つのトピックに。

03

知識 KNOWLEDGE | 確かな事実・ルール

確かめられた事実やルールを、根拠となるトピックや出来事にひも付けて保存します。「どこから来た情報か」をいつでも辿れるので、後から経緯を追えます。フラットなメモをただ並べるやり方とは、ここが決定的に違います。

例 「返金ルールはこう」という知識に、それが決まった打ち合わせ(トピック)が必ずぶら下がります。

04

タグ TAG | 情報どうしのつながり

言葉づかいが違って、同じ領域の情報を一つに結び付けるラベルです。文章の似ている・似ていないだけでは取りこぼす関係を、タグが横串を通して拾い上げます。人名・会社名などの固有名詞は、次の「実体」に育つ芽になります。

例 「請求」「payment」「精算」——表現がばらけても、同じ“決済”のタグで一つにまとまります。

05

エンティティ ENTITY | 名前を持つ実体

人・会社・製品・技術など、名前を持つ「実体」を一つのまとまりとして扱います。呼び方が揺れても社内では同じ相手として統合され、別名・親子関係・「これは何者か」の説明を一枚に束ねます。一度きりで終わらず、登場のたびに更新され続けます。

例 「Stripe」「ストライプ」「決済会社」——どう呼んでも、システムの中では同じ一社として扱われます。

06

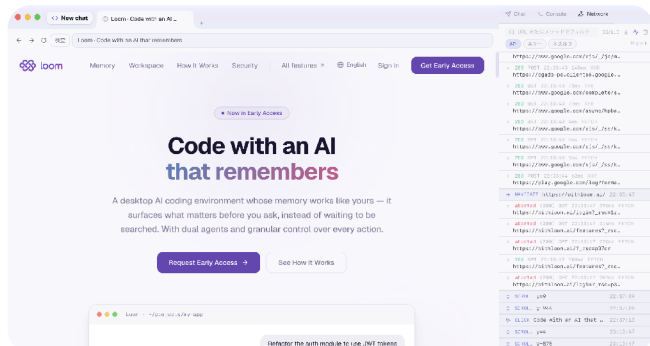
関係グラフ(オントロジー) ONTOLOGY | 実体どうしのつながり

実体と実体を「使う」「置き換える」などの関係線で結び、時間の流れも刻みます。どの出来事を根拠にその関係を判断したかも一緒に持つので、状況が変われば古い関係を自動で見直せます。積み上げたメモを毎回読み直して考えるのとは、比べものにならない速さです。

例 「前任者 → 退職 → 後任者」という移り変わりを線でたどり、“今の担当は誰か”に一手で辿り着けます。

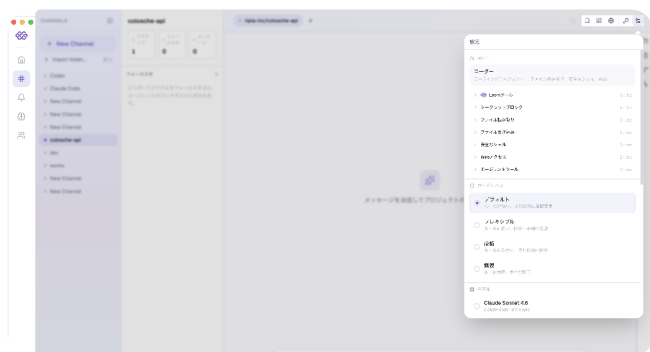
コンテキストウィンドウ至上主義。

記憶だけではありません。エージェントを仕事仲間にする環境を整えました。



インアプリ・ブラウザ

ネットワーク/コンソール検査つきで、エージェントにオールインワン開発環境を提供します。
Browserコンソールログのコピペ、ネットワークのコピペは不要です。
エージェントが読みやすい形に集約されています。



細かい権限制御

ルールセット・ロールで制御する権限制御

ビジュアル Git

差分・AI コミットメッセージ

かんばん

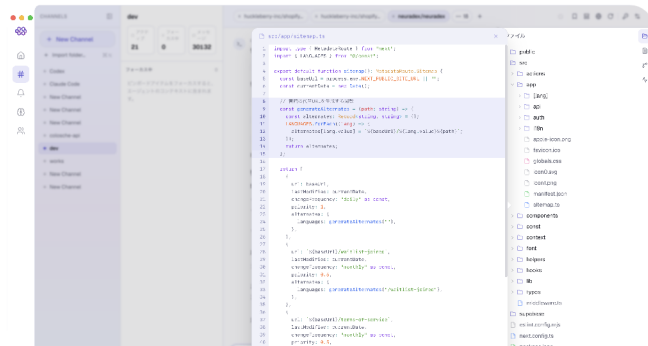
エージェントがカードを取りに来ます

セッション/フォーク

worktree で分岐・並行

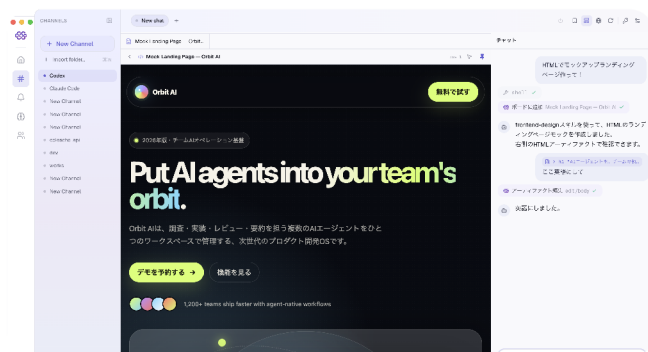
SNA

Claude Code / Codex / Grok Build / Cursor で動きます。
API キー不要・サブスク対応



ファイルブラウザー

アイテムを見ながら、エージェントと話せます。
編集集中のファイルや、いま注目したい項目は常に活性化させておけます。



アーティファクト

アーティファクトはクロスセッション・リアルタイムに同期します

検証ループ

走らせて、ブラウザで確かめます

シークレット・リダクション

値はマスクしたまま、エージェントに使わせず

チェックポイント

意味合い単位のマイルストーンを保持します

オンデバイス

Loom記憶グラフは、あなたのデバイス上に存在します

ほかにも — MCP 連携・使用量メータ。▶ **Guard と Role** によるセキュリティ機能。リモート実行なども開発中です。

▶ コーディングエージェントは差し替え可能な「中身」。包むのは Loom。

いくつかの指標

9

自律バックグラウンド
エージェント

86%

LongMemEval (429/500)
ツール呼出しなし・自動想起のみ

5

異種ハーネスを
1 API に (SNA)

計測

R-score — ノイズの多い候補プールは、同じヒット数のきれいなプールに構造的に勝てません。4 ステージ分離で再現可能に検証します。

パイプライン

会話 → episode → topic → knowledge → entity → 関係グラフ を、**9つの自律エージェント**が監査しながら構築します。

記憶モデル

7層 / 不変の SPOC エッジ / 双時間 — 「これは今も正しいか」を実行時に導出します。

基盤

SNA が5つの異種ハーネスを1 API に、**Irail** が決定論的ワークフロー+拒否優先ポリシーを担います。



お手持ちの **Claude Code / Codex** のサブスクだけで動きます。**API キー不要・追加課金なし。**

記憶が、やがて推論になる。

Memory that becomes reasoning.

人間の推論は、純粋な知性なのでしょうか。

私たちは学習を通じて、推論の仕方を記憶の中に蓄えてきました。

ならば、**記憶の地図の上に推論を宿せる**はずです。

私たちは、その道の先に **AGI** があると信じています。

こんな方とお話したいです

- エージェントコーディングや業務に取り組む方
- LLM の**長期記憶**の課題を解きたい方
- コンテキスト / ハーネス・エンジニアリングに関心がある方
- **AGI** をつくりたい方

収益化の青写真はあります。そのうえで、開発を支えてくださる**投資家・パートナー**も探しています。

お使いのモデルはそのまま。**それを包む Loom** を、ぜひお試しください。

// Neuradex

状態・構造・文脈を持つ AI の基盤をつくるチーム。

Loom **withloom.ai** ・ お問い合わせ **neuradex.ai/ja/contact**

X **@neuradex_ai** ・ **github.com/neuradex**

